

一歩先行く中小企業・店主のための

監修/一般社団法人全国信用金庫協会
第43巻第5号/毎月1回1日発行
平成29年5月1日発行

じんきん

Shinkin Keiei Joho 経営情報

信用金庫と地域のお客さまを「つなぐ」オリジナル情報誌です

2017 **5** May

待ったなしの社員教育! 「ゆとり世代」の若手社員を 即戦力にする



ダイヤモンド社

眠りは健康のもと。リラックスでできる安全・安心な寝具パシーマ®を製造

御社の主力製品「パシーマ®」について教えてください。

梯 高密度のガーゼで、医療用に使われるレベルの純度の高い脱脂綿を包み込んだ3層構造の寝具です。自然の木綿を精製して、油脂分や不純物を徹底して取り除いた上で、防かび剤や抗菌剤など余分なものを一切使わずに製造しています。

織り、染色整理加工、縫製、製品化まで一貫して自社で行っている純国産品です。

その特長は、ゼロ秒吸収と言いたいほど吸水性に優れている一方で、速乾性を備えていること。ざぶざぶ洗えて、乾きも早く、洗えば洗うほど肌触りがよくなる。このため、長年使い込んだパシーマを「手塩にかけて育ててきました」と言ってくれる人もいます。

——とても軽くて暖かいそうですね。

梯 冬に暖かいだけではありません。夏

豊かになれば、特殊紡績は必要とされません。1957年、工場移転とともに、りゅうぐうわた株式会社（後に現社名に変更）を設立。以後、医療用の脱脂綿、ガーゼ、不織布などを基本にした製品開発と製造を行ってきました。

——経営は順調でしたか？

梯 いいえ、筑後川の洪水では機械が使用できなくなり、工場が火災で焼け落ちて致命的な打撃を受けました。自転車操業のような状態だった時代もあります。父は、次々に素材や製品を研究開発し、「龍宮ナブキン」のようなヒットもありましたが、経営より発明に向いている人でした。私が入社したのも経営が厳しい時期でしたが、その後、売り上げを漸増させながら、今日に至っています。

収益の増加をけん引してきたのがパシーマです。その特性を生かしてシート、パジャマ、靴下、スリッパ、ベビー用品など30以上のアイテムを製品化。現在は収益の9割がパシーマによるものになりました。

——その販売戦略は？

梯 パシーマは、有名雑誌や作家の中野

かけはし・こうろう 1956年福岡県生まれ。80年、熊本大学工学部卒業後、龍宮入社。92年、創業者（父）の社長退任に伴い、同社専務に就任。2012年、兄の後を継いで代表取締役社長に就任する。



は涼しい。これは体から出る熱を保つと同時に、汗による蒸気を素早く吸収して外に放出する上、適度な通気性もあるからです。保温性は綿布団の約2倍、吸水性はタオルケットの1.5倍以上です。

また繊維が長いのでほりが出にくく、蛍光増白剤などの仕上げ剤を使っていないため、赤ちゃんがなめても平気。エコテックス規格100（イクラス）に認定

孝次先生のエッセーに紹介されて、全国的に知られるようになりました。宣伝広告に費用は割けないので、マスコミなどの取材は積極的に受け入れ、情報発信の機会を逃さないようにしています。

製品は百貨店、寝具店、それに薬局など全国の1000店舗で扱ってもらっています。量販店での安売りはしません。すべて自社で丁寧につけているので、大量生産もディスプレイもできないからです。

それに、製品のよさを説明できなければ、お客様に価値が伝わりません。町の寝具店や薬局などで丁寧に売られている商品でありたいと思います。

——健康効果の検証にも熱心ですね。

梯 健康を回復した父は「これはよかね」と手放してパシーマを褒めています。根拠がありません。そこで東邦大学、奈良女子大学、川崎医療福祉大学などに研究を依頼して、健康効果を検証してきました。寝付きがよくなることや、リラックスすることは立証されています。

——社長に就任して取り組んだことは？

代表取締役社長 **梯 恒三**

され、安全性も際立っています。またJコオリティ^{※2}認証も得られる予定です。

——どのように開発されたのですか？

梯 発明・開発したのは、創業者である父の梯禮一郎です。父は70代で、アトピー、腎臓病、脂肪肝などさまざまな病気に苦しみました。それが、自然治癒力を高めて健康を取り戻すという健康法との出合いが転機になり、「快適な睡眠の実現」を目指すようになりました。そして、無害である医療用のガーゼと脱脂綿を寝具に応用したのです。考案後、製品化するまでに10年かかりました。今年、パシーマ誕生25周年に当たります。

——創業以後の経緯を教えてください。

梯 創業は終戦直後のものが欠乏していた時代です。父が中古機械による特殊紡績（古い綿から糸を作る方法）を考案し、工場を立ち上げました。しかし、社会が

梯 カラー化に着手しています。これまでは、生成り色だけで展開してきましたが、「かわいいものが欲しい」というお客様の声に応えました。今はデザインも検討しています。

また、小さなことですが、うきは市で誕生した赤ちゃんに、パシーマのバスタオルをプレゼントしています。地元へのお礼であり、わが社に親近感を持ってほしいと願っていることです。

——これからの夢をお聞かせください。

梯 大量生産はできませんが、介護施設や高級ホテルで使われること。さらに海外へも販路を広げたいと思います。パシーマがもたらす快眠を、多くの人に体験してもらいたいですね。



快適なパシーマの寝具は、キルトケットや枕カバー、パットシートなど各種揃う

事業内容	繊維工業
創業/設立	1947年/1957年
資本金	2800万円
従業員数	40人
売上高	4億円
所在地	福岡県うきは市吉井町新治278
電話	0943-75-3148

※1: エコテックス規格100 有害物質を使用していないことを示す繊維製品の国際規格。最高位は1クラス(製品分類I)。 ※2: Jコオリティ Jc-QUALITY。織りから製品化まで全工程が日本国内で行われ、日本品質を持つ繊維製品の品質保証。